

平成29年3月期 決算説明会

平成29年5月18日
(株)今仙電機製作所
東証1・名証1
証券コード 7266

www.imasen.co.jp

I . 平成29年3月期決算概要

4Q連結決算ハイライト

百万円	前年同期実績 (H28年3月期)	当期実績 (H29年3月期)	増減額	増減率
売上高	120,100	110,275	▲9,825	▲8.2%
営業利益	3,202	2,670	▲532	▲16.6%
経常利益	2,747	2,047	▲700	▲25.5%
当期純利益	883	1,567	684	77.5%
1株当たり純利益	43.09円	76.48円	33.39	77.5%

POINT

国内の生産減少や為替の影響などにより、減収減益となりました

ご参考

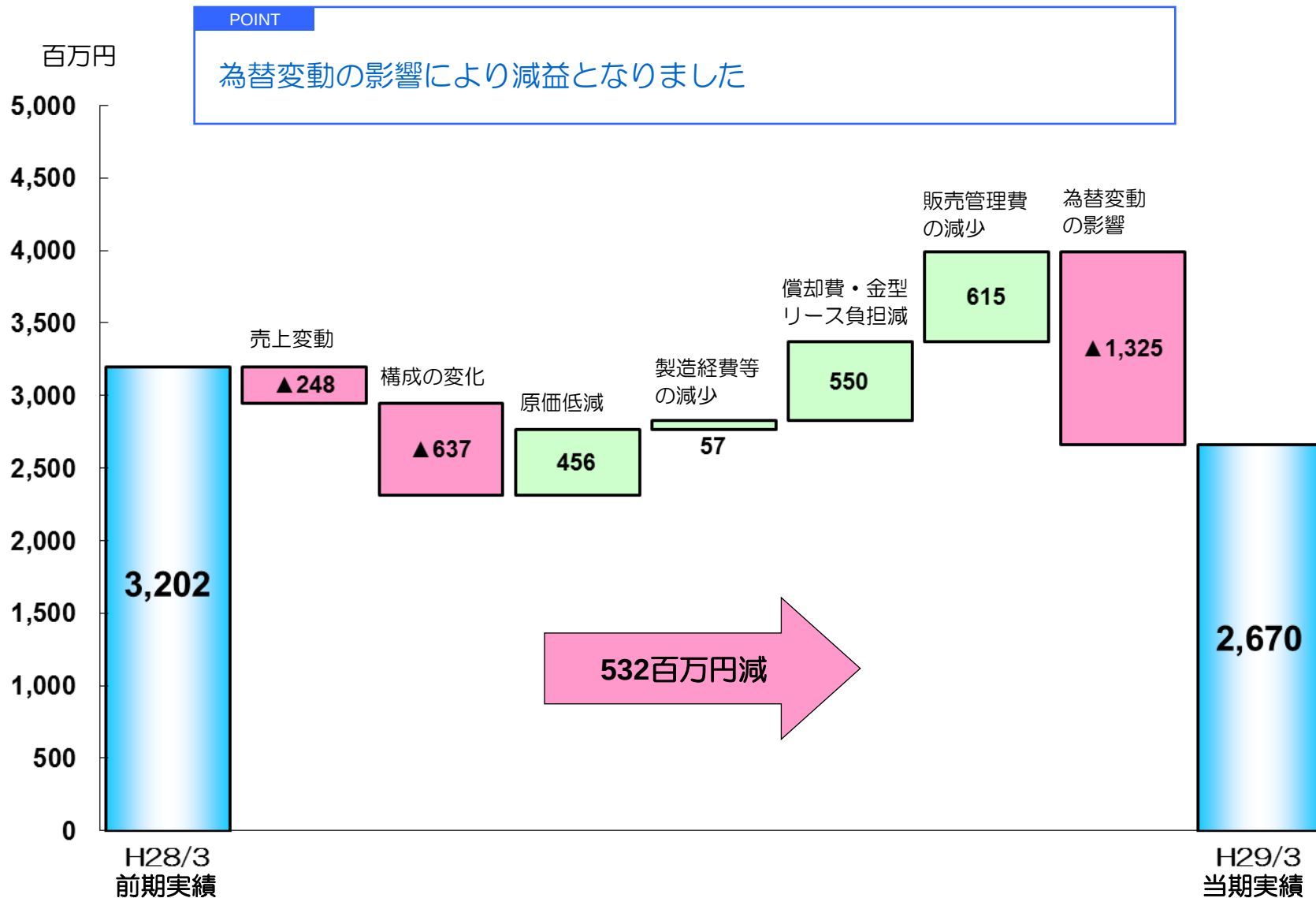
USD 29/3期	108.78円	28/3期	121.1円	12.32円の円高
CNY 29/3期	16.36円	28/3期	19.23円	2.87円の円高
THB 29/3期	3.08円	28/3期	3.54円	0.46円の円高

百万円	前期実績 (H28年3月期)	当期実績 (H29年3月期)	増減額		増減率
			増減額	増減率	
総 資 産	86,311	82,033	▲ 4,278	▲ 5.0%	
純 資 産	45,881	46,335	454	1.0%	
自 己 資 本 比 率	52.7%	56.0%	-	-	
1 株 当 た り 純 資 産	2,217.74円	2,239.53円	21.79	1.0%	

POINT

有形固定資産の減少や借入金返済を進めたことなどにより、総資産は減少しております

4Q実績 前年同期比変動要因：営業利益

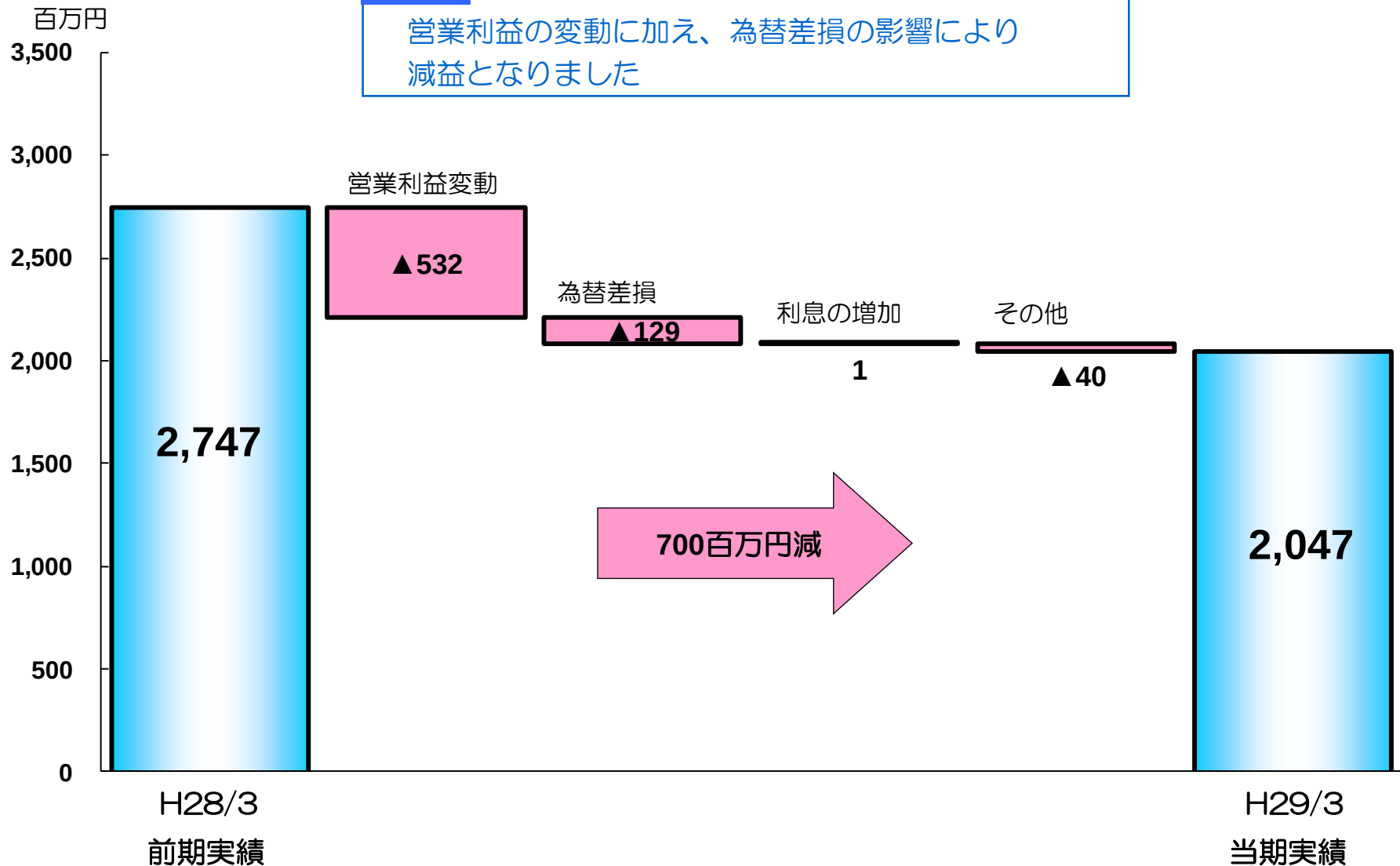


本資料の内容に関する一切の権利は(株)今仙電機製作所に帰属しています。複写及び無断転載はご遠慮下さい。本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づいた推測、見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因によって、予測と異なる結果となる可能性があります。

4Q実績 前年同期比変動要因：経常利益

POINT

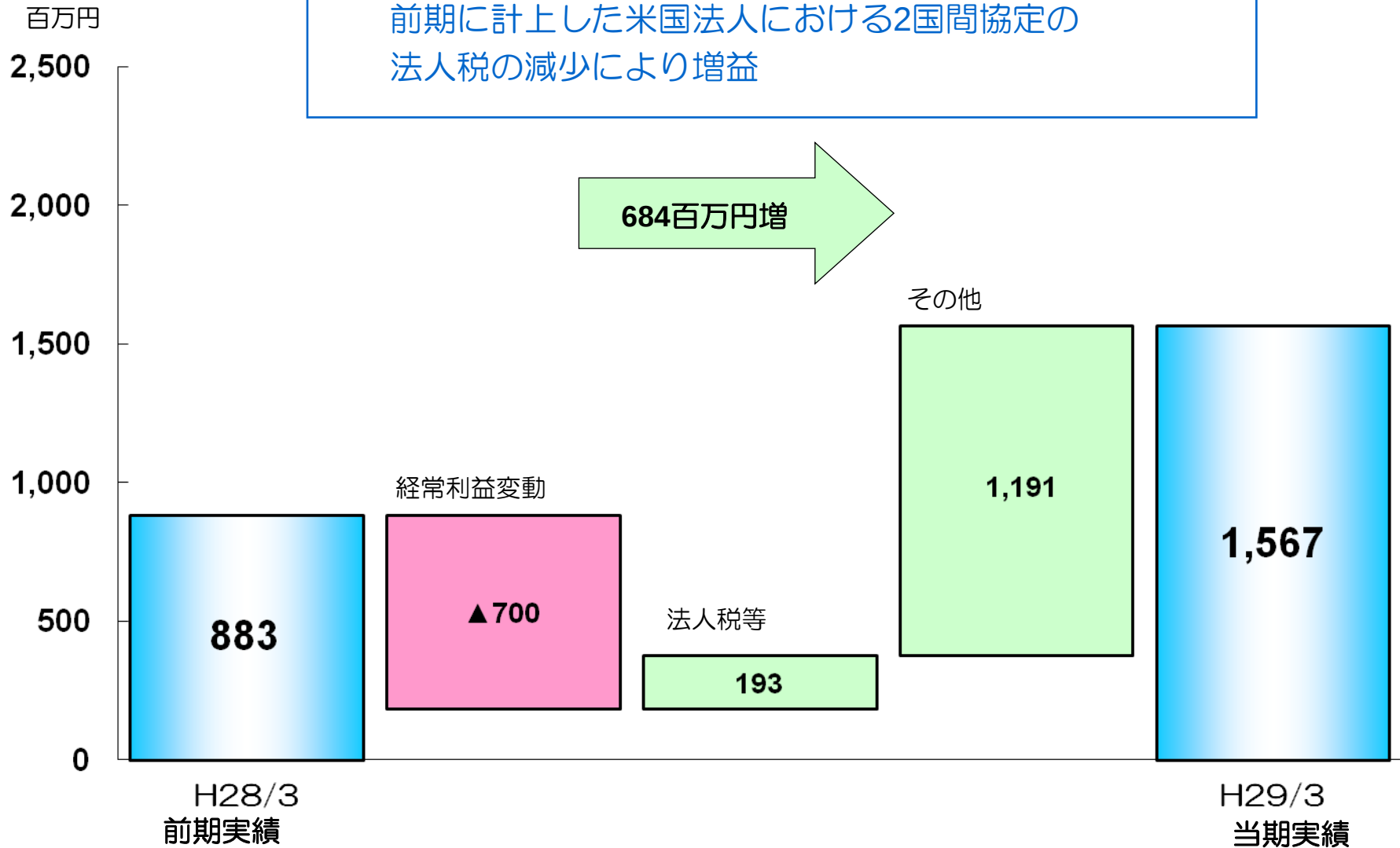
営業利益の変動に加え、為替差損の影響により減益となりました



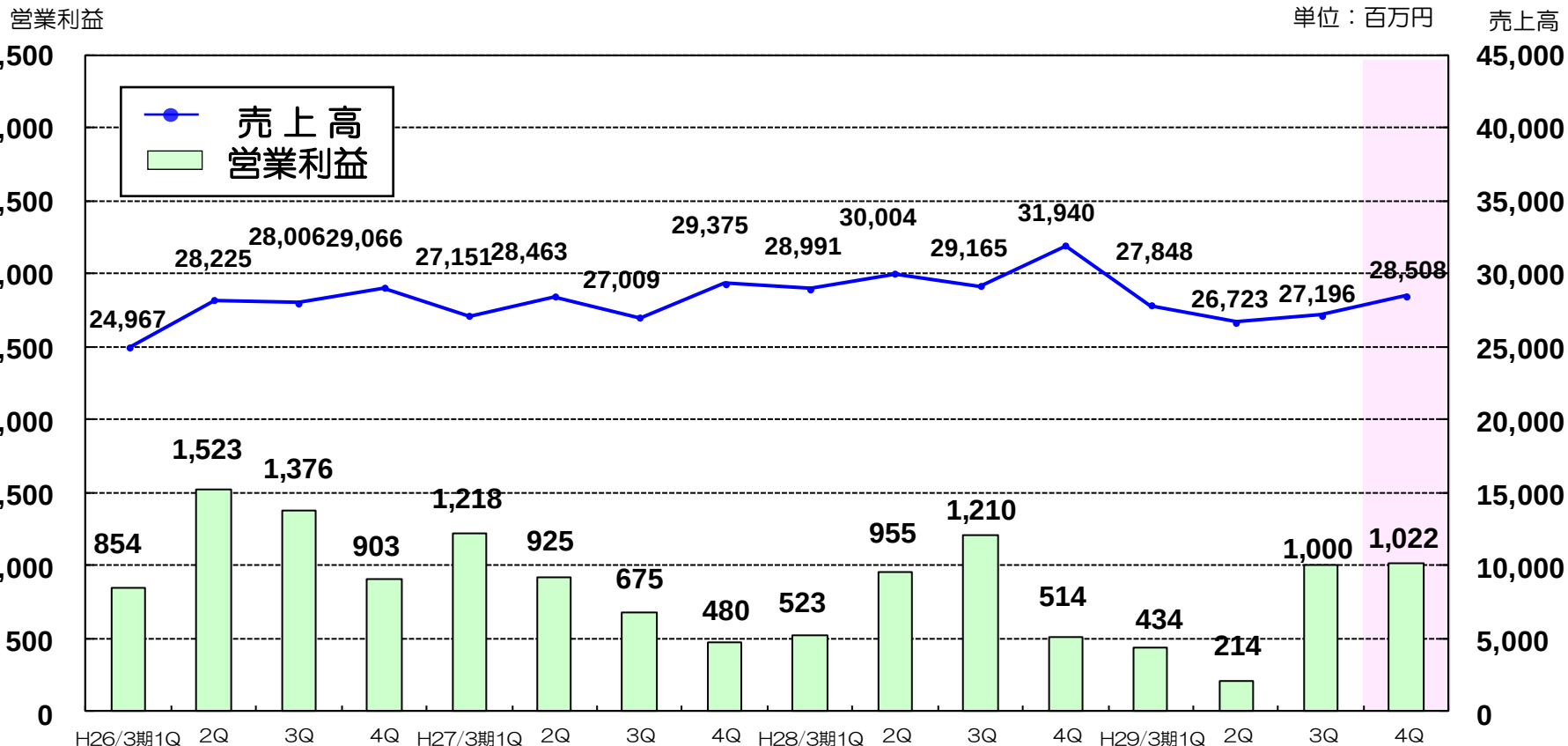
4Q実績 前年同期比変動要因：当期純利益

POINT

前期に計上した米国法人における2国間協定の法人税の減少により増益



■連結売上高・営業利益の推移



POINT

H29/3期3Qより為替が円安に推移したこと等により改善傾向にある

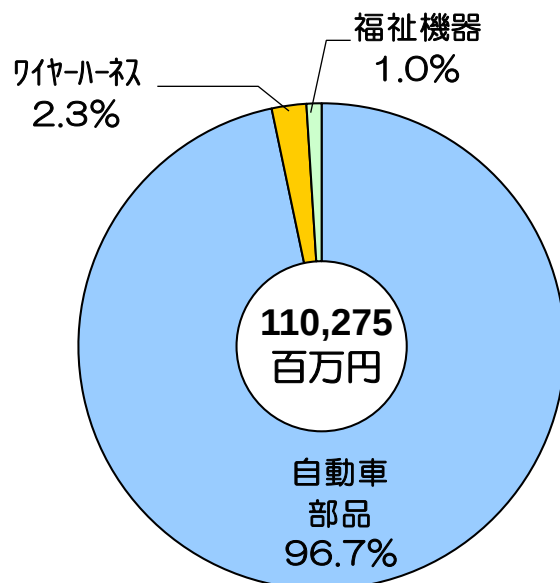
事業の種類別セグメント：自動車部品関連事業

百万円		自動車部品 関連事業	ワイヤーハ 関連事業	福祉機器 関連事業	連結
外部売上高	H29/3期	106,670	2,563	1,040	110,275
	H28/3期	115,907	3,069	1,123	120,100
	増減額	▲ 9,237	▲ 506	▲ 83	▲ 9,825
営業利益	H29/3期	2,842	▲ 177	▲ 5	2,670
	H28/3期	3,205	▲ 30	16	3,202
	増減額	▲ 363	▲ 147	▲ 21	▲ 532

POINT

■ 主要事業である自動車部品関連事業において、国内の生産減少や為替の影響などにより減益となりました

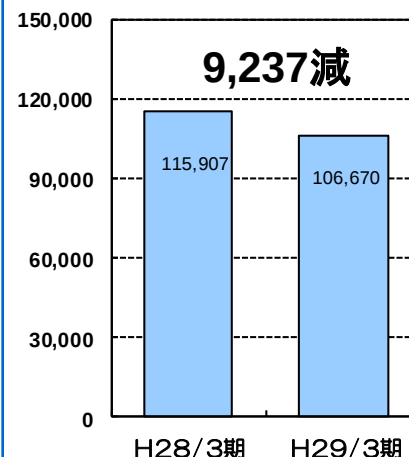
事業の種類別 売上高構成



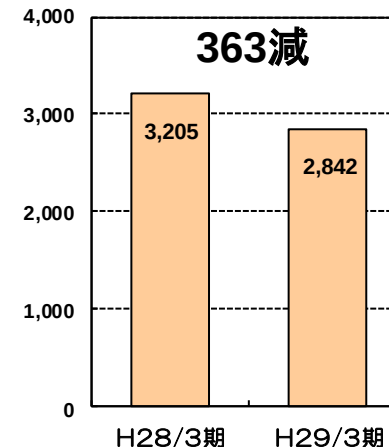
自動車部品関連事業

百万円

外部売上高



営業利益



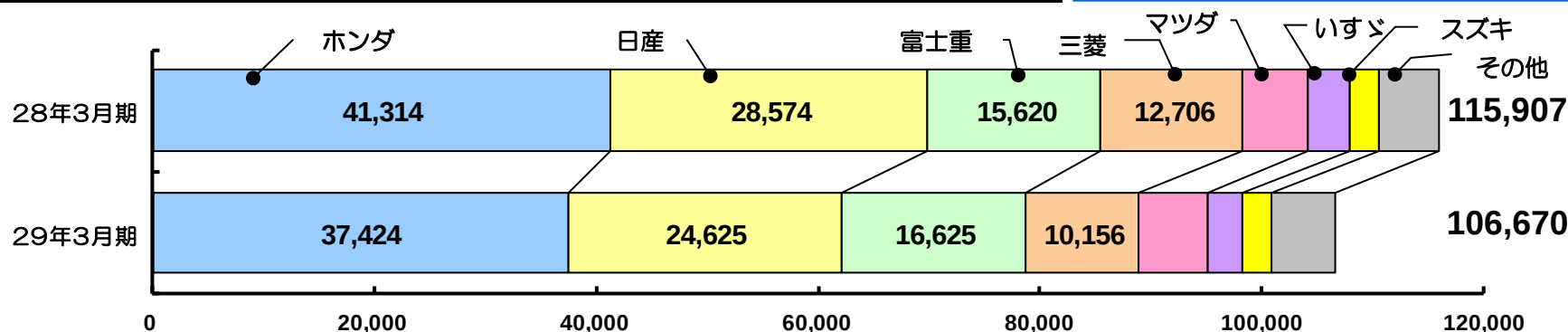
事業の種類別セグメント：自動車部品関連事業

得意先系列別 売上高構成

百万円	前期		当期		増 減	
		構成比		構成比	額	率
本田技研工業(株)	41,314	35.6%	37,424	35.1%	▲ 3,890	▲ 9.4%
日産自動車(株)	28,574	24.7%	24,625	23.1%	▲ 3,949	▲ 13.8%
(株)SUBARU	15,620	13.5%	16,625	15.6%	1,005	6.4%
三菱自動車工業(株)	12,706	11.0%	10,156	9.5%	▲ 2,550	▲ 20.1%
マツダ(株)	5,940	5.1%	6,236	5.8%	296	5.0%
いすゞ自動車(株)	3,758	3.2%	3,124	2.9%	▲ 634	▲ 16.9%
スズキ(株)	2,719	2.3%	2,745	2.6%	26	1.0%
ダイハツ工業(株)	786	0.7%	730	0.7%	▲ 56	▲ 7.1%
トヨタ自動車(株)	671	0.6%	616	0.6%	▲ 55	▲ 8.2%
日野自動車(株)	384	0.3%	358	0.3%	▲ 26	▲ 6.8%
ヤマハ発動機(株)	105	0.1%	131	0.1%	26	24.8%
その他	3,325	2.9%	3,900	3.7%	575	17.3%
計	115,907	100.0%	106,670	100.0%	▲ 9,237	▲ 8.0%

POINT

- ホンダ系列向け
 - ・北米、国内における生産減少と為替影響
- 日産系列向け
 - ・北米、国内における生産減少と為替影響
- SUBARU系列向け
 - ・北米、国内における生産増加
- 三菱系列向け
 - ・国内における生産減少



事業の種類別セグメント：自動車部品関連事業

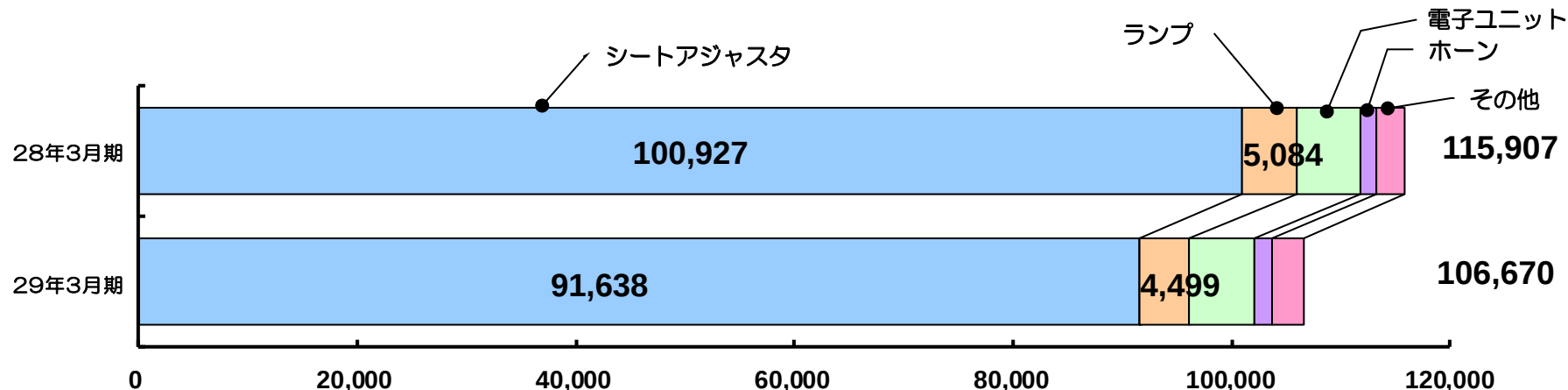
■機種別 売上高構成

百万円	前期		当期		増 減	
		構成比		構成比	額	率
(1)機構部品	100,927	87.1%	91,638	85.9%	▲ 9,289	▲ 9.2%
シートアジャスタ	100,927	87.0%	91,638	85.9%	▲ 9,289	▲ 9.2%
(2)電装部品	12,350	10.7%	12,060	11.3%	▲ 290	▲ 2.3%
ランプ	5,084	4.4%	4,499	4.2%	▲ 585	▲ 11.5%
電子ユニット	5,760	5.0%	5,911	5.5%	151	2.6%
ホーン	1,504	1.3%	1,650	1.6%	146	9.7%
(3)その他	2,629	2.3%	2,971	2.8%	342	13.0%
合 計	115,907	100.1%	106,670	100.0%	▲ 9,237	▲ 8.0%

POINT

■ 主力製品であるシートアジャスタは国内での減産影響や為替影響などにより減少しました

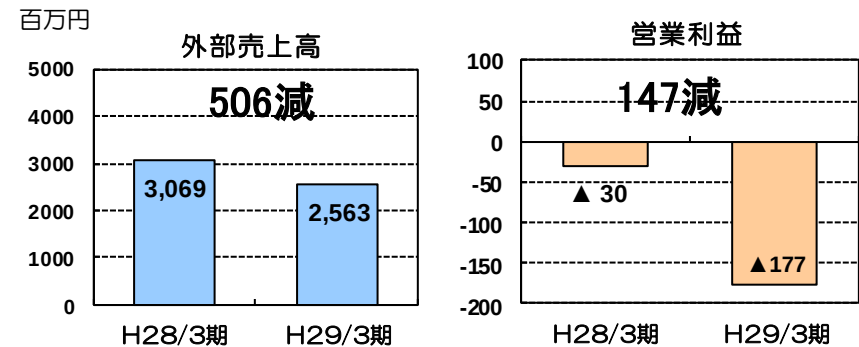
■ 電子ユニットは中国での生産が増加しました



■ワイヤーハーネス関連事業

POINT

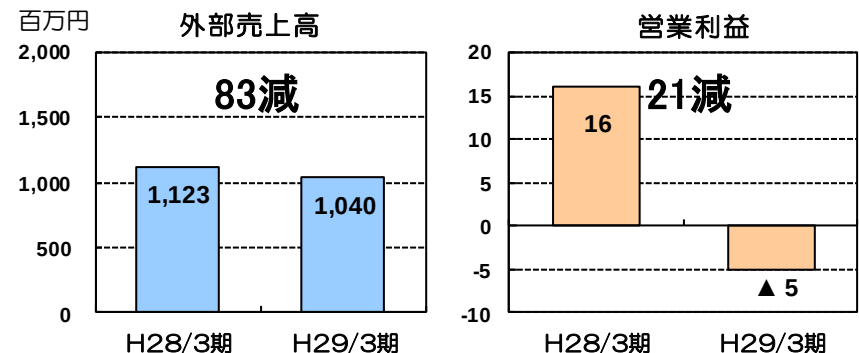
航空機関連の受注減少により減収減益となりました



■福祉機器関連事業

POINT

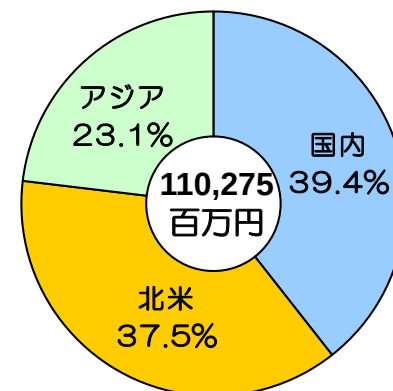
無動力歩行支援機「ACSIVE」の販売減少と
電動車いすの回収・修理に対する一時的な
費用増から減収減益となりました



■所在地別売上高構成

百万円		国内	北米	アジア	連結
外部売上高	H29/3期	43,447	41,406	25,420	110,275
	H28/3期	46,706	46,142	27,251	120,100
	増減額	▲ 3,259	▲ 4,736	▲ 1,831	▲ 9,825
営業利益	H29/3期	323	715	1,681	2,670
	H28/3期	898	607	1,634	3,202
	増減額	▲ 575	108	47	▲ 532

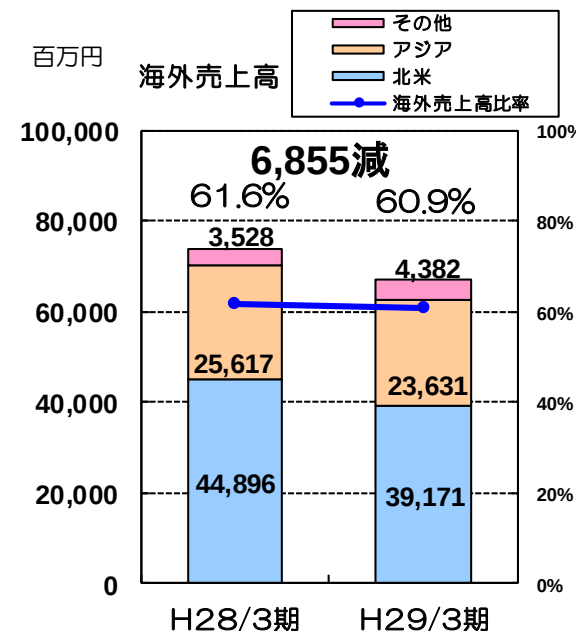
所在地別 外部売上高



■海外売上高

百万円	国内	北米	アジア	その他	連結
H29/3期	43,090	39,171	23,631	4,382	110,275
H28/3期	46,060	44,896	25,617	3,528	120,100
増減額	▲ 2,970	▲ 5,725	▲ 1,986	854	▲ 9,825

※海外売上高とは顧客の所在地を基礎とし、国または地域に分類しています



POINT

- 所在地別売上高は各地にて減収となりましたが、北米、アジアにおいては原価低減効果から増益となりました

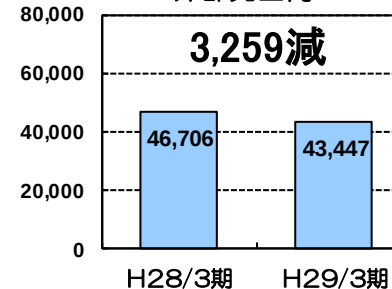
国内

POINT

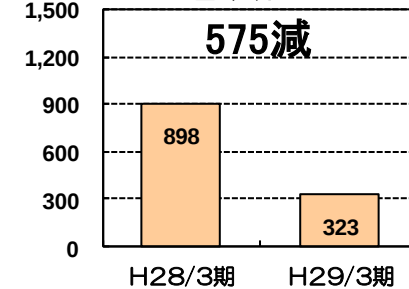
三菱向けの生産が減少したことなどから
減収減益となりました

百万円

外部売上高



営業利益



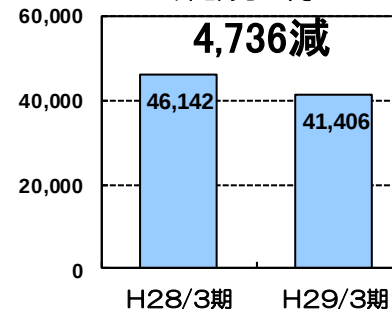
北米

POINT

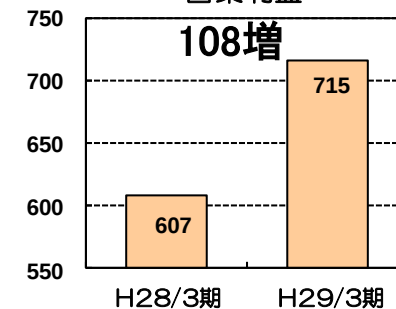
為替の影響を受けたものの、原価低減
効果により増益となりました

百万円

外部売上高



営業利益



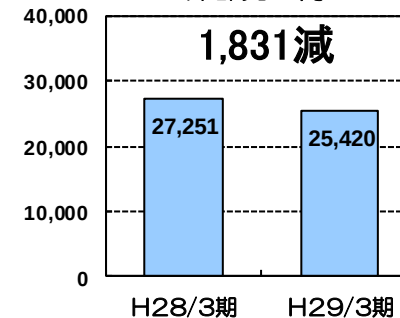
アジア

POINT

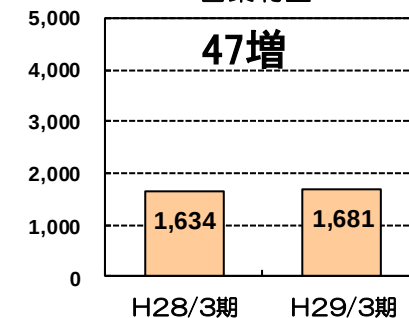
中国、タイにおいて為替の影響を受けた
ものの、原価低減効果により増益となり
ました

百万円

外部売上高



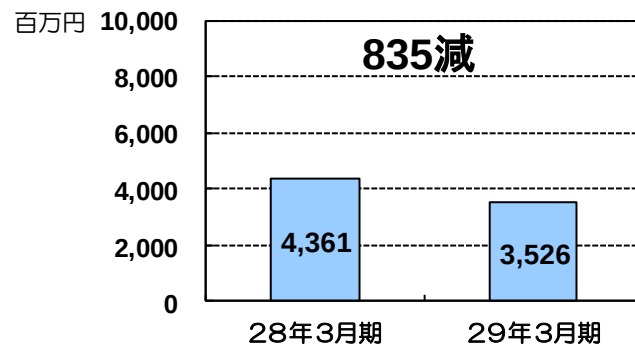
営業利益



■設備投資

POINT

前期に比べ設備投資を抑制しております

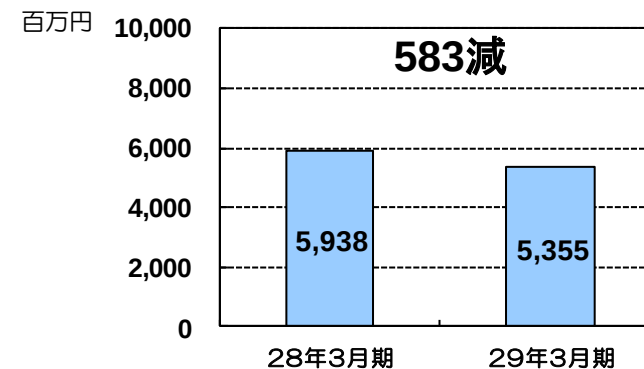


	28年3月期 (実績)	29年3月期 (実績)	前期比増減
日本	2,346	1,907	▲ 439
北米	945	685	▲ 260
メキシコ	183	238	55
中国	485	263	▲ 222
タイ	247	369	122
フィリピン	75	35	▲ 40
台湾	19	21	2
インド	18	2	▲ 16
インドネシア	39	2	▲ 37
合計	4,361	3,526	▲ 835

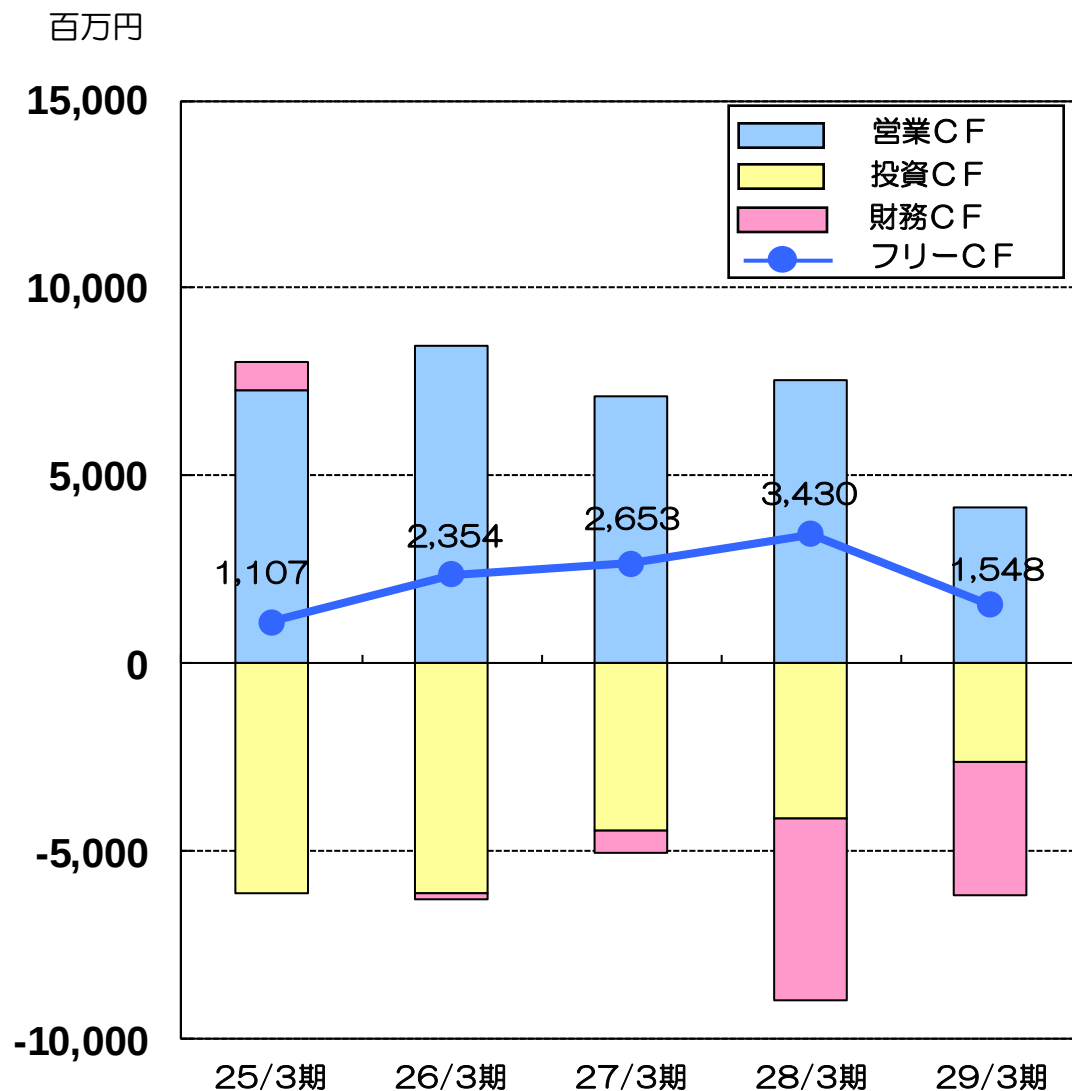
■減価償却費

POINT

投資抑制により減価償却費は減少しております



	28年3月期 (実績)	29年3月期 (実績)	前期比増減
日本	2,897	2,647	▲ 250
北米	1,659	1,489	▲ 170
メキシコ	107	99	▲ 8
中国	566	533	▲ 33
タイ	455	430	▲ 25
フィリピン	98	86	▲ 12
台湾	22	19	▲ 3
インド	122	48	▲ 74
インドネシア	8	0	▲ 8
合計	5,938	5,355	▲ 583



POINT

■ 投資CFは有形固定資産の取得に対する支払いが減少しました

■ 財務CFは借入金の返済により減少しました

■ フリーCFは1,548百万円となりました

Ⅱ. 平成30年3月期 業績見通し概要

百万円	前期実績 (H29年3月期)	当期予想 (H30年3月期)	増減額		増減率
売上高	110,275	113,000	2,725		2.5%
営業利益	2,670	3,900	1,230		46.1%
経常利益	2,047	3,800	1,753		85.6%
当期純利益	1,567	2,500	933		59.5%
1株当たり純利益	76.48円	121.95円	45.47		59.5%

POINT

北米および中国の生産増加により、増収増益を予想しております

ご参考

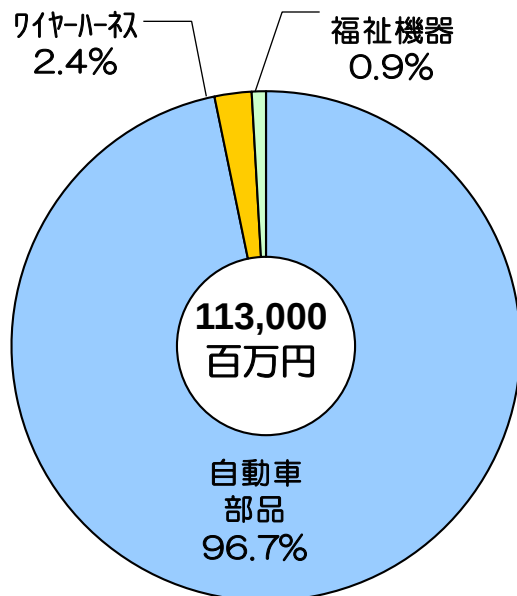
USD 30/3期 110.00円 29/3期 108.78円 1.22円の円安
 CNY 30/3期 16.07円 29/3期 16.36円 0.29円の円高
 THB 30/3期 3.10円 29/3期 3.08円 0.02円の円安

百万円		自動車部品 関連事業	ワイヤーハ 関連事業	福祉機器 関連事業	連結
外部売上高	H30/3期	109,320	2,650	1,030	113,000
	H29/3期	106,670	2,563	1,040	110,275
	増減額	2,650	87	▲ 10	2,725
営業利益	H30/3期	3,889	1	10	3,900
	H29/3期	2,842	▲ 177	▲ 5	2,670
	増減額	1,047	178	15	1,230

POINT

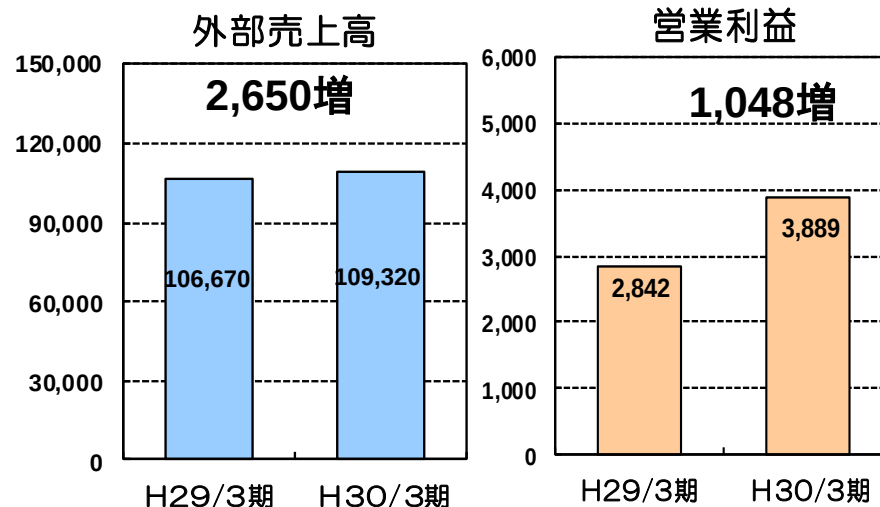
自動車部品関連事業において、北米および中国での生産増加により、増収増益を予想しております

事業の種類別 売上高構成



自動車部品関連事業

百万円

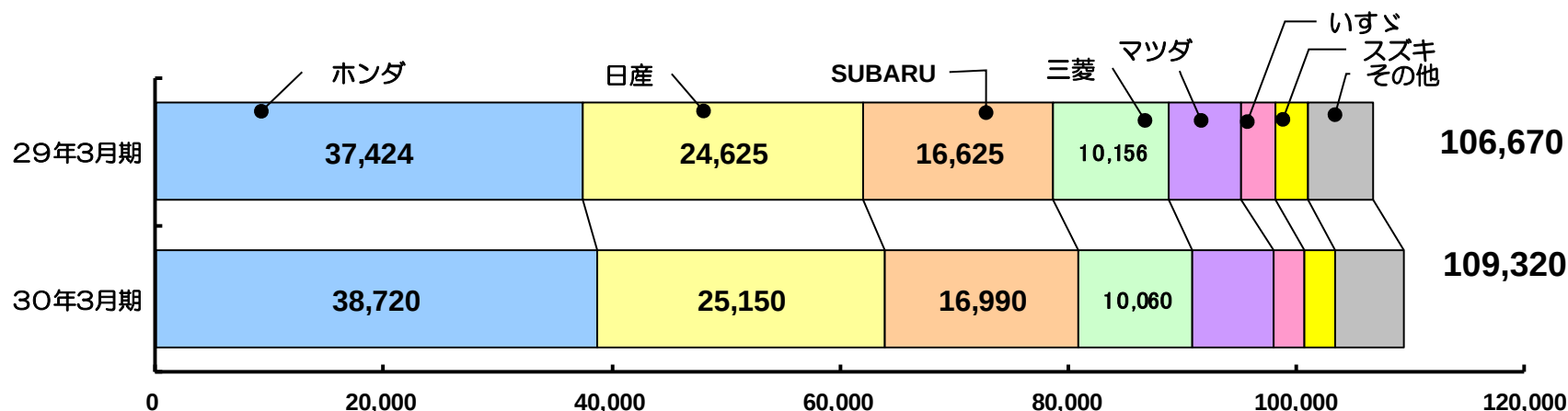


得意先系列別 売上高構成

百万円	前期		当期 (予想)		増 減	
		構成比		構成比	額	率
本田技研工業(株)	37,424	35.1%	38,720	35.4%	1,296	3.5%
日産自動車(株)	24,625	23.1%	25,150	23.0%	525	2.1%
(株)SUBARU	16,625	15.6%	16,990	15.5%	365	2.2%
三菱自動車工業(株)	10,156	9.5%	10,060	9.2%	▲ 96	▲ 0.9%
マツダ(株)	6,236	5.8%	7,020	6.4%	784	12.6%
いすゞ自動車(株)	3,124	2.9%	2,800	2.6%	▲ 324	▲ 10.4%
スズキ(株)	2,745	2.9%	2,570	2.4%	▲ 175	▲ 6.4%
ダイハツ工業(株)	730	0.7%	790	0.7%	60	8.2%
トヨタ自動車(株)	616	0.6%	570	0.5%	▲ 46	▲ 7.5%
日野自動車(株)	358	0.3%	380	0.4%	22	6.1%
ヤマハ発動機(株)	131	0.1%	80	0.1%	▲ 51	▲ 38.9%
その他	3,900	2.9%	4,190	3.8%	290	7.4%
計	106,670	100.0%	109,320	100.0%	2,650	2.5%

POINT

- ホンダ系列向け
 - ・中国における生産増加
- 日産系列向け
 - ・北米における生産増加
- SUBARU系列向け
 - ・北米における生産増加
- マツダ系列向け
 - ・国内における生産増加



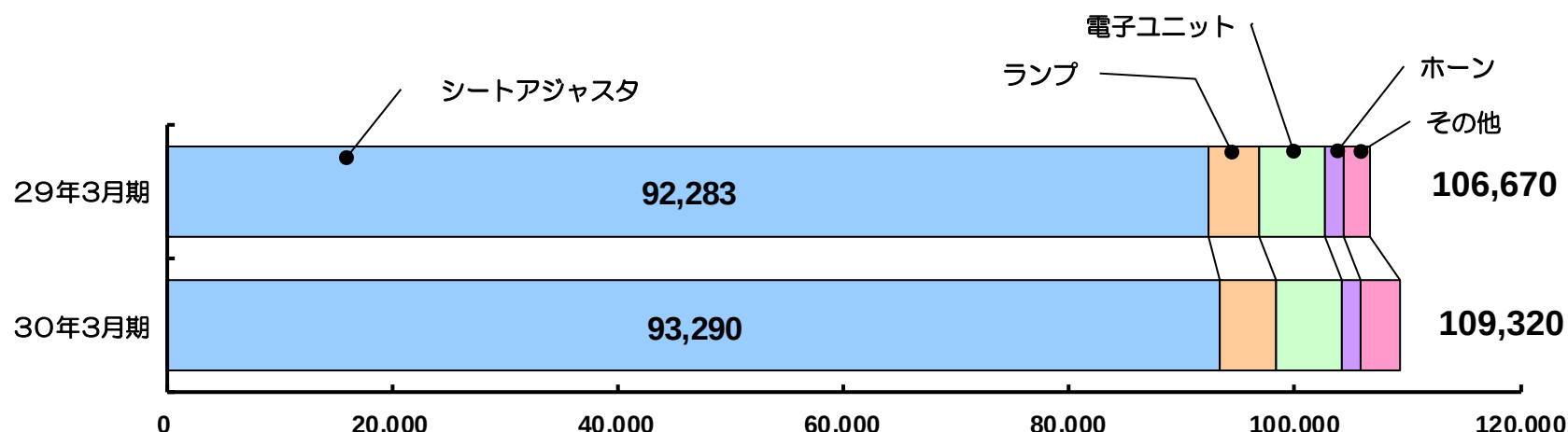
本資料の内容に関する一切の権利は(株)今仙電機製作所に帰属しています。複写及び無断転載はご遠慮下さい。本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づいた推測、見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因によって、予測と異なる結果となる可能性があります。

■機種別 売上高構成

百万円	前期		当期 (予想)		増 減	
		構成比		構成比	額	率
(1)機構部品	91,638	85.9%	93,290	85.3%	1,652	1.8%
シートアジャスタ	91,638	85.9%	93,290	85.3%	1,652	1.8%
(2)電装部品	12,060	11.3%	12,460	11.4%	400	3.3%
ランプ	4,499	4.2%	5,070	4.6%	571	12.7%
電子ユニット	5,911	5.5%	5,820	5.3%	▲ 91	▲ 1.5%
ホーン	1,650	1.6%	1,570	1.4%	▲ 80	▲ 4.8%
(3)その他	2,971	2.8%	3,570	3.3%	599	20.2%
合 計	106,670	100.0%	109,320	100.0%	2,650	2.5%

POINT

- ・シートアジャスタ
中心の事業構成
- ・前期に対しシート
アジャスタとランプ
の売上が増加する
見込み



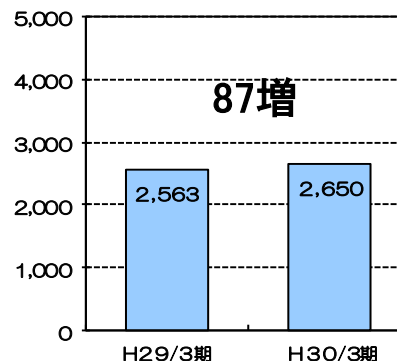
■ワイヤーハーネス関連事業

POINT

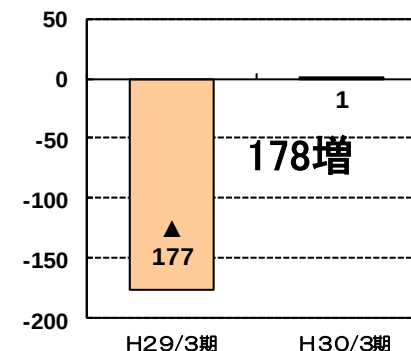
航空機関連、工作機械関連のいずれも受注増加による増収増益を予想しております

百万円

外部売上高



営業利益



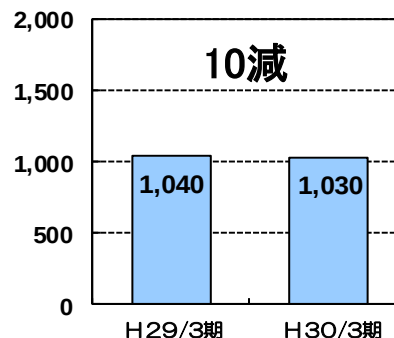
■福祉機器関連事業

POINT

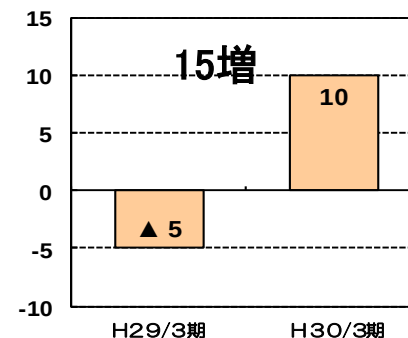
電動車いすの販売減少により減収となる中、原価低減活動による増益を予想しております

百万円

外部売上高



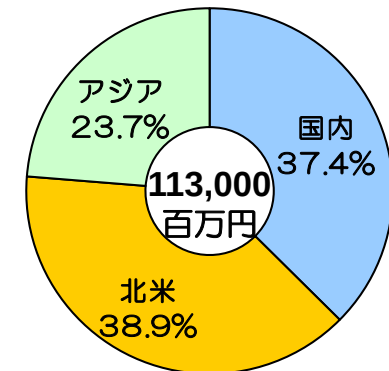
営業利益



■所在地別売上高構成

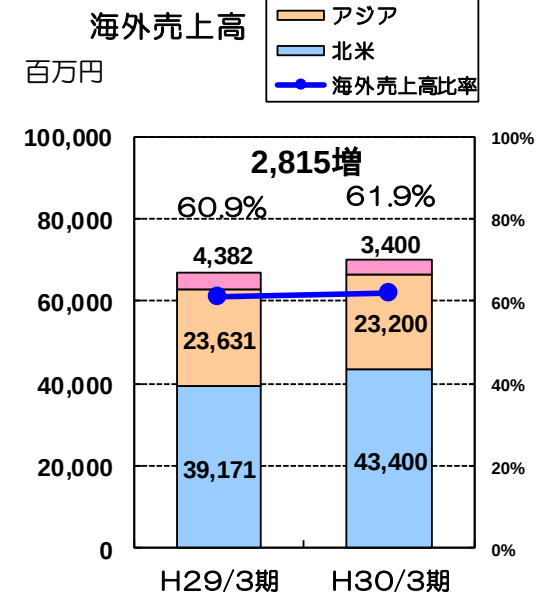
百万円		国内	北米	アジア	連結
外部売上高	H30/3期	42,301	43,893	26,806	113,000
	H29/3期	43,447	41,406	25,420	110,275
	増減額	▲ 1,146	2,487	1,386	2,725
営業利益	H30/3期	1,100	730	2,070	3,900
	H29/3期	323	715	1,681	2,670
	増減額	777	15	389	1,230

所在地別 外部売上高



■国別売上高

百万円	国内	北米	アジア	その他	連結
H30/3期	43,000	43,400	23,200	3,400	113,000
H29/3期	43,090	39,171	23,631	4,382	110,275
増減額	▲ 90	4,229	▲ 431	▲ 982	2,725



POINT

■売上高の所在地別割合は国内が減少し北米とアジアが増加と予想

■海外売上高は北米で増加と予想

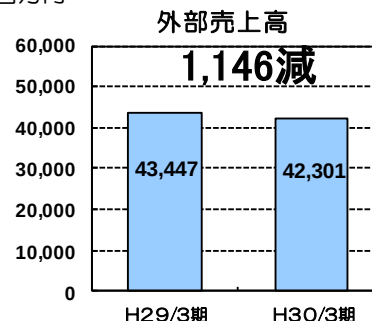
30/3予想 所在地別セグメント情報

国内

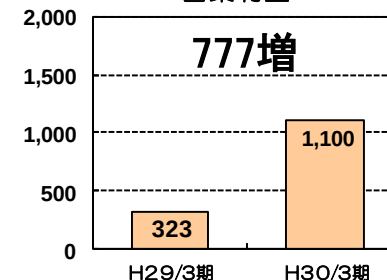
POINT

自動車部品関連事業の生産減少が影響し減収となりますが、原価低減活動により増益を見込んでおります

百万円



営業利益

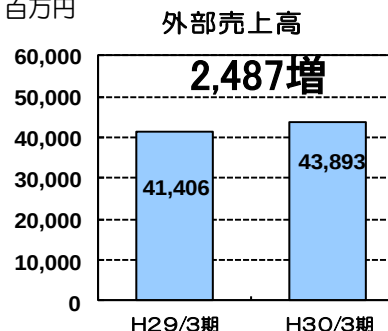


北米

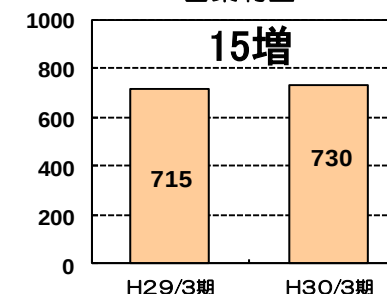
POINT

生産増加による増収増益を見込んでおります

百万円



営業利益

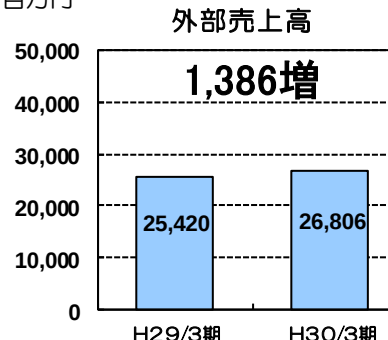


アジア

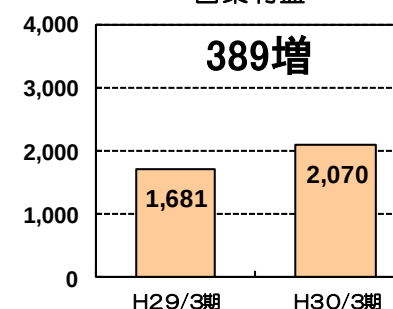
POINT

中国の生産増加により増収増益を見込んでおります

百万円



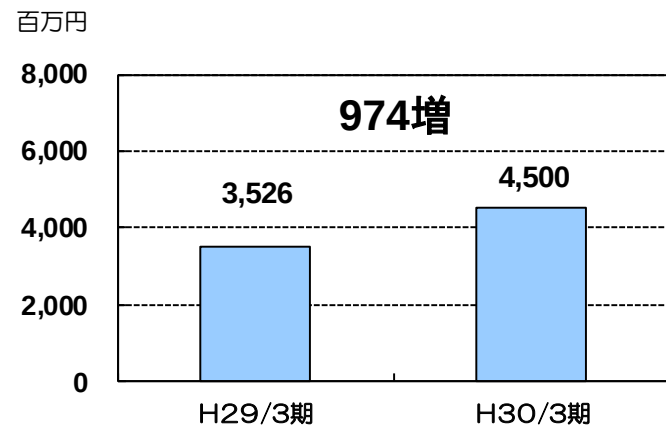
営業利益



■設備投資

POINT

新規立上り対応による投資を見込んでおります

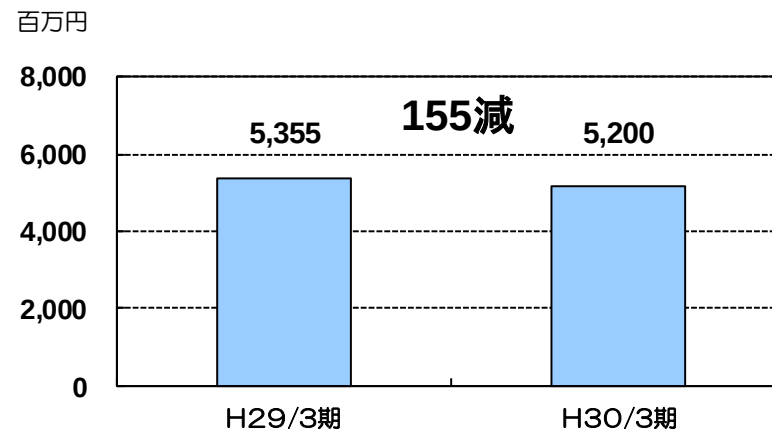


	29年3月期 (実績)	30年3月期 (予想)	前期比増減
日本	1,907	2,876	969
北米	685	377	▲ 308
メキシコ	238	44	▲ 194
中国	263	637	374
タイ	369	313	▲ 56
フィリピン	35	115	80
台湾	21	42	21
インド	2	92	90
インドネシア	2	0	▲ 2
合計	3,526	4,500	974

■減価償却費

POINT

北米において減価償却費の減少を見込んでおります

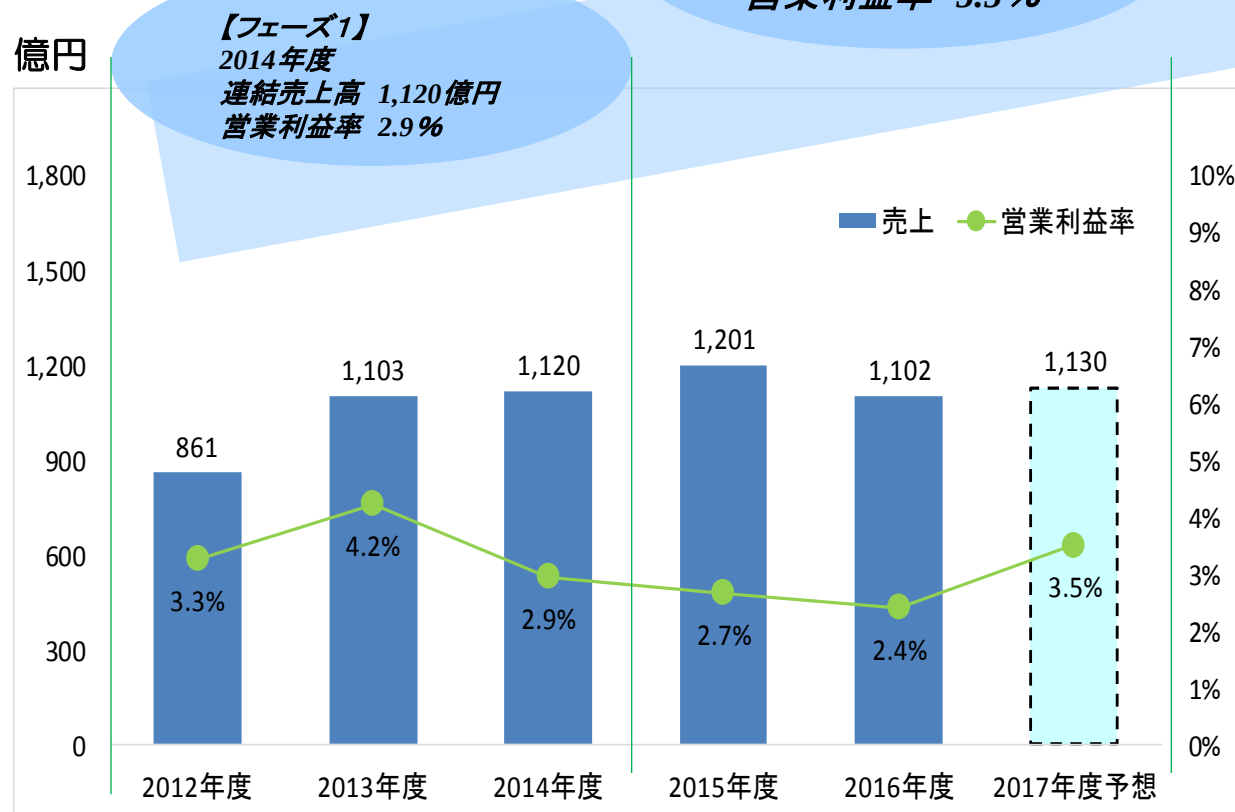


	29年3月期 (実績)	30年3月期 (予想)	前期比増減
日本	2,647	2,766	119
北米	1,489	1,203	▲ 286
メキシコ	99	113	14
中国	533	621	88
タイ	430	307	▲ 123
フィリピン	86	79	▲ 7
台湾	19	29	10
インド	48	66	18
インドネシア	0	11	11
合計	5,355	5,200	▲ 155

Ⅲ. 今後の経営方針

フェーズ2までの損益推移

Dream 2020

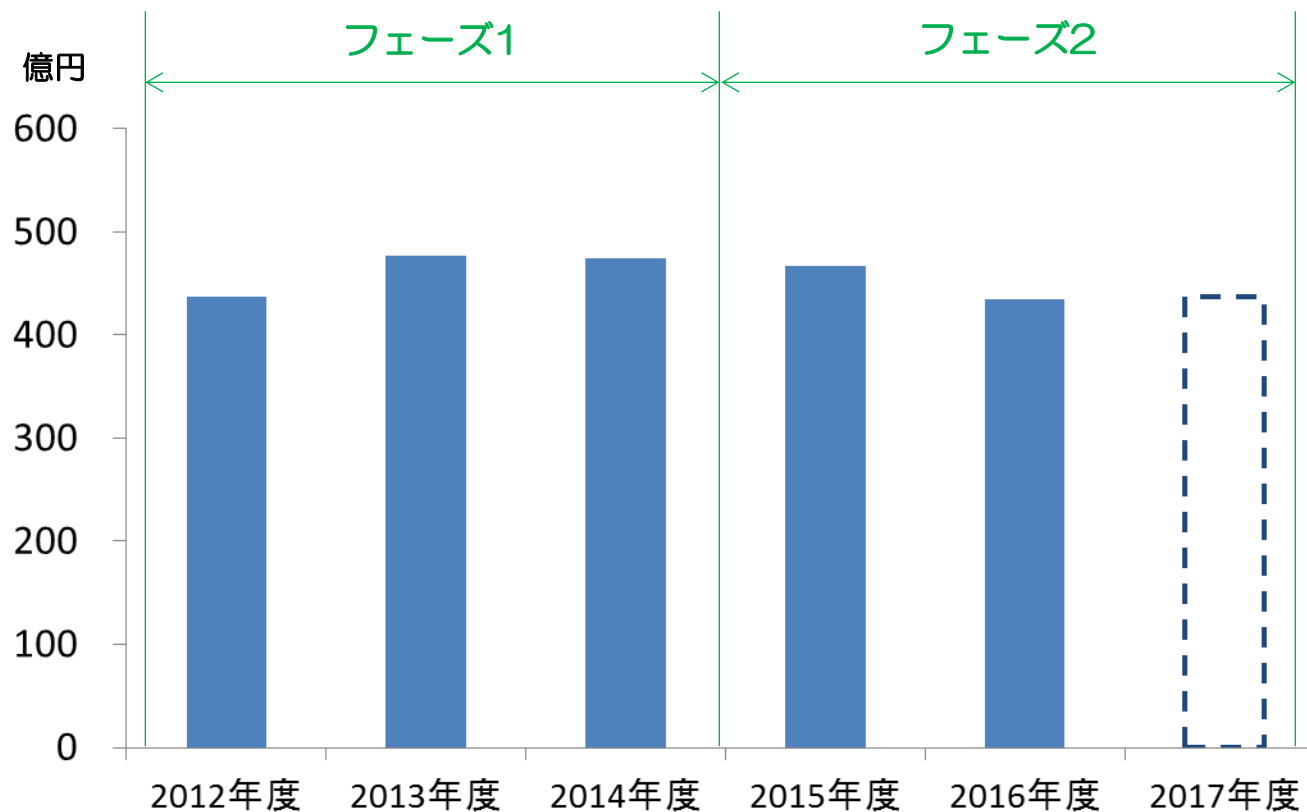


- 売上は横ばい
- 利益面は厳しい経営環境にある

フェーズ2 目標営業利益率 未達の主な要因まとめ

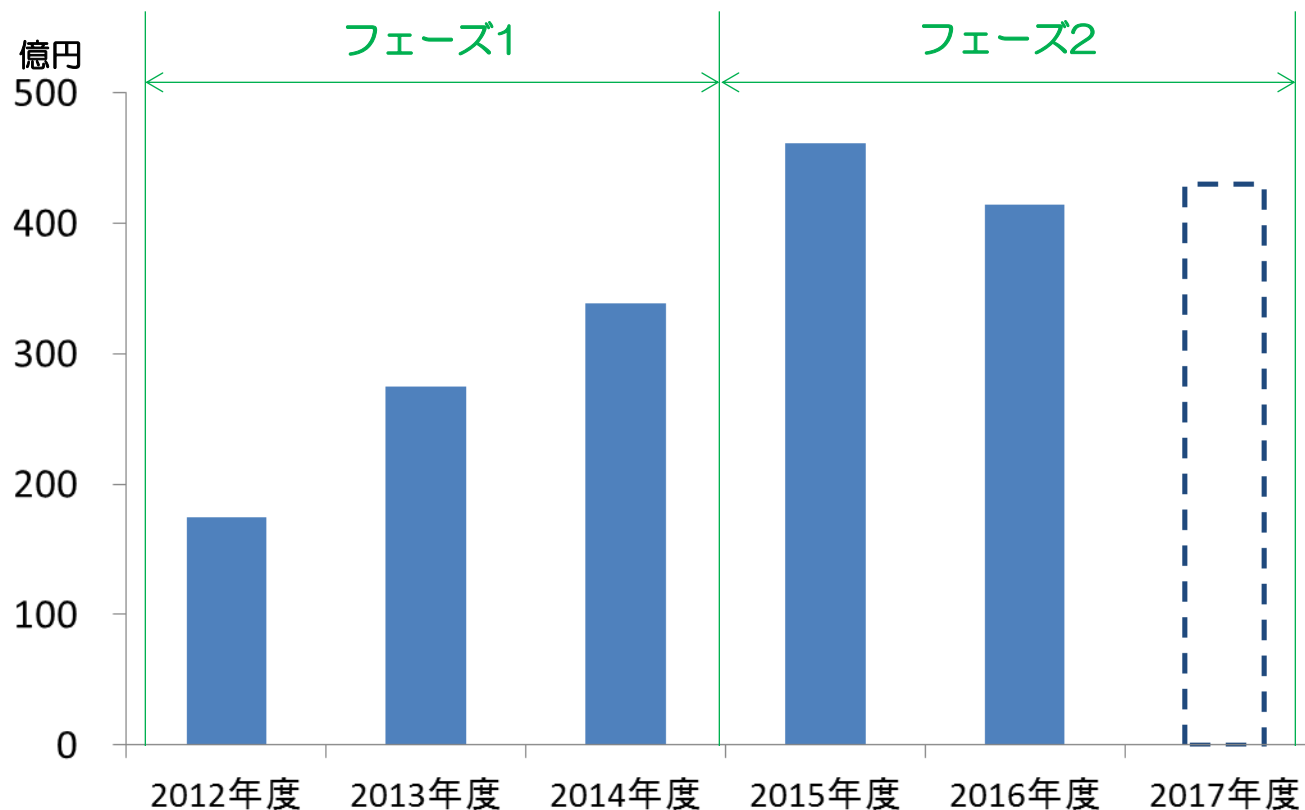
- グローバルでの価格競争激化
→ 欧米メガサプライヤーや
新興国ローカルサプライヤーとの競争
- アジアの成長率鈍化
(中国、タイ、インド、インドネシア)
- 為替変動による影響

売上高の推移 ～国内事業～



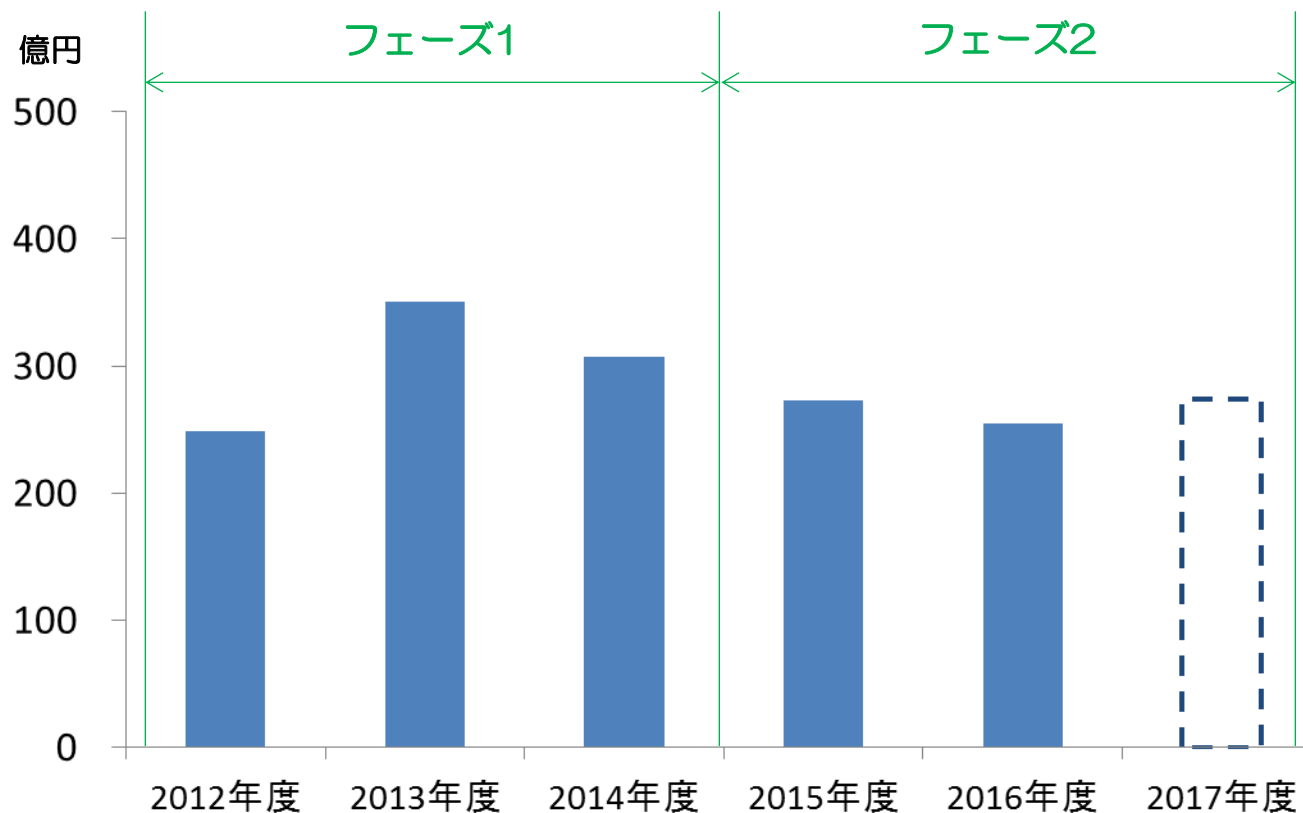
売上は徐々に減収傾向にある

売上高の推移 ～北米事業～



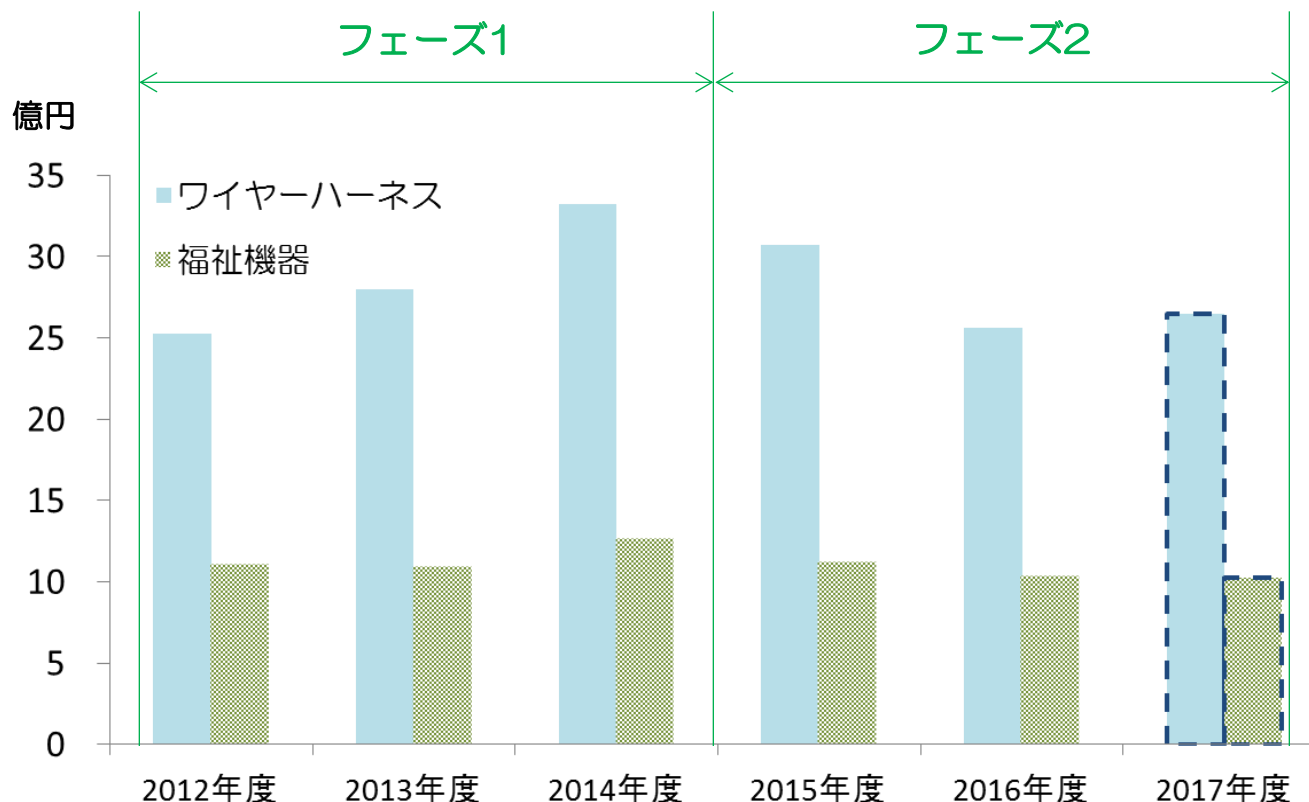
好調な経済環境から売上は増加傾向にある

売上高の推移 ～アジア事業～

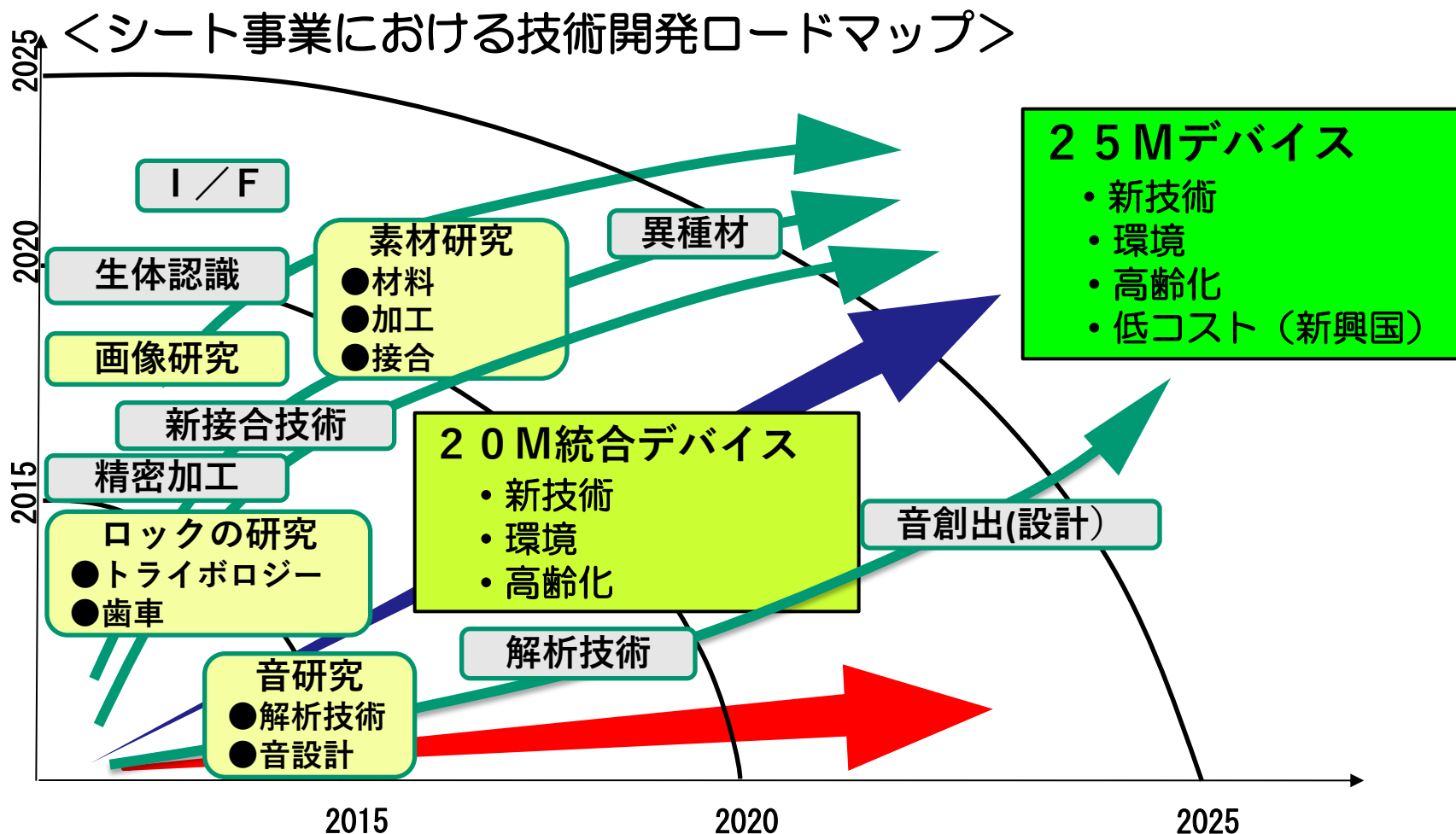


経済環境の不透明さから売上は減収傾向にある

売上高の推移 ～非自動車事業～

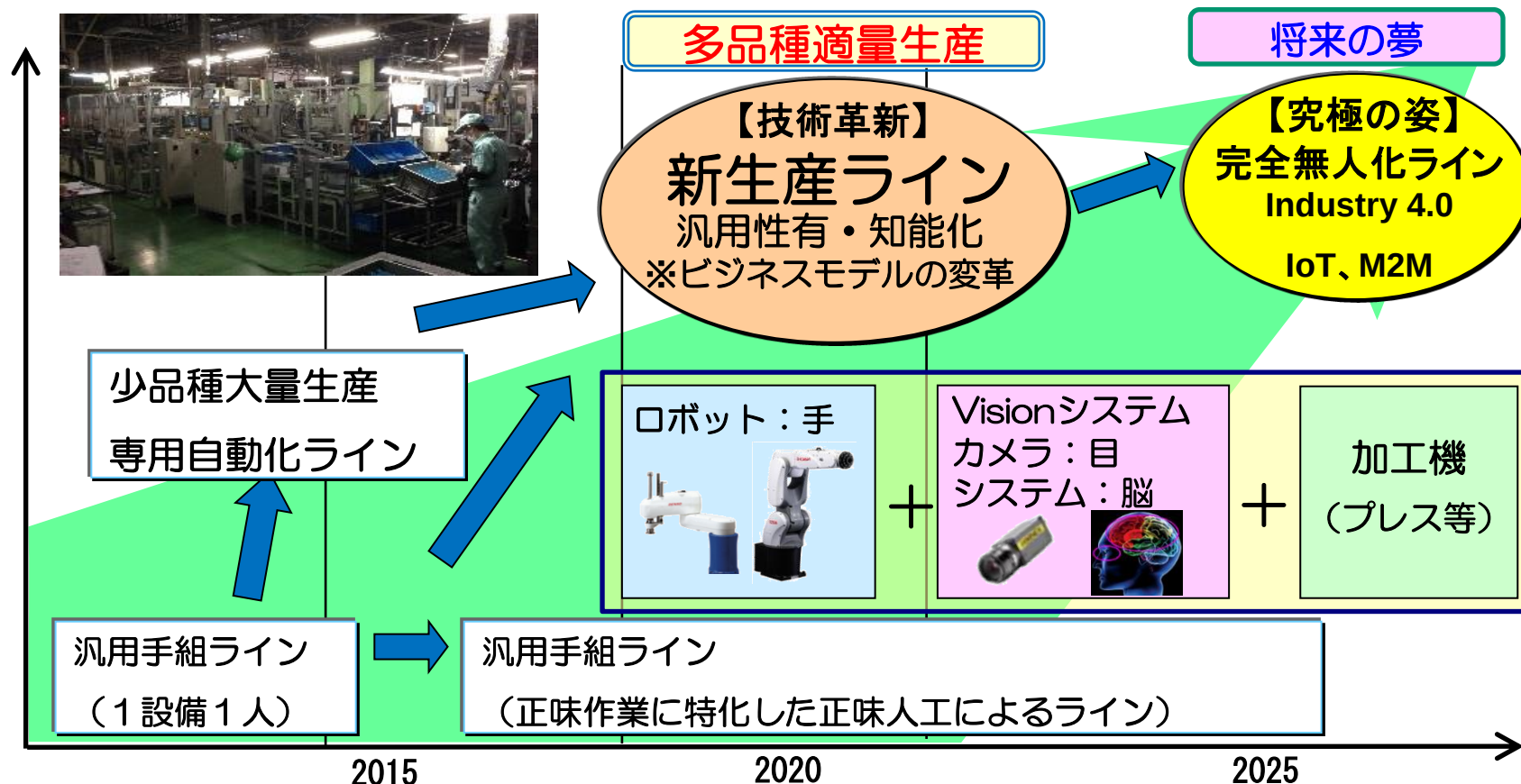


ワイヤーハーネス、福祉機器事業とも売上高は減少傾向にある



技術を融合し、製品価値を高め、今仙ブランドを構築する

<造りの技術革新>



従来の生産方式からの脱却
→ 新生産ラインの構築を図り、他社に負けない競争力を築く

中期戦略（技術戦略）

キーワード	戦略	戦術
プラットフォーム SUVの伸張	モジュール戦略	・ 統合デバイスを開発
高級車化	プレミアム戦略	・ 高剛性デバイス開発 ・ 高付加価値照明製品
自動運転の進化	自動運転戦略	・ 快適デバイス ・ 画像処理技術活用 ・ 軽量化
環境	超軽量化戦略 省エネ	・ 超高効率電力変換技術 ・ 超小型高密度実装ECU
高齢化	福祉車両戦略	・ 最適軽量
新興国	低コスト	・ 電子製品の海外生産（中国、タイ、メキシコ）

日本、米国、中国の営業拠点およびドイツ支店からの拡販活動を推進

<フェーズ2 重点展開方針>

■技術革新

- ・グローバル開発センターを軸とした新規製品の開発を実施

■国内事業の再構築

- ・国内工場の再編による固定費削減の推進

■グローバル拠点の最適化

- ・中国3拠点の最適な管理、生産体制を構築する

■人材育成

- ・海外現地スタッフの育成強化

フェーズ3の展開方針を今年一年かけて策定する

グローバル開発センターの取り組み

aLQ by ACSIVE



<製品コンセプト>

誰もが手軽に使える歩行アシスト機

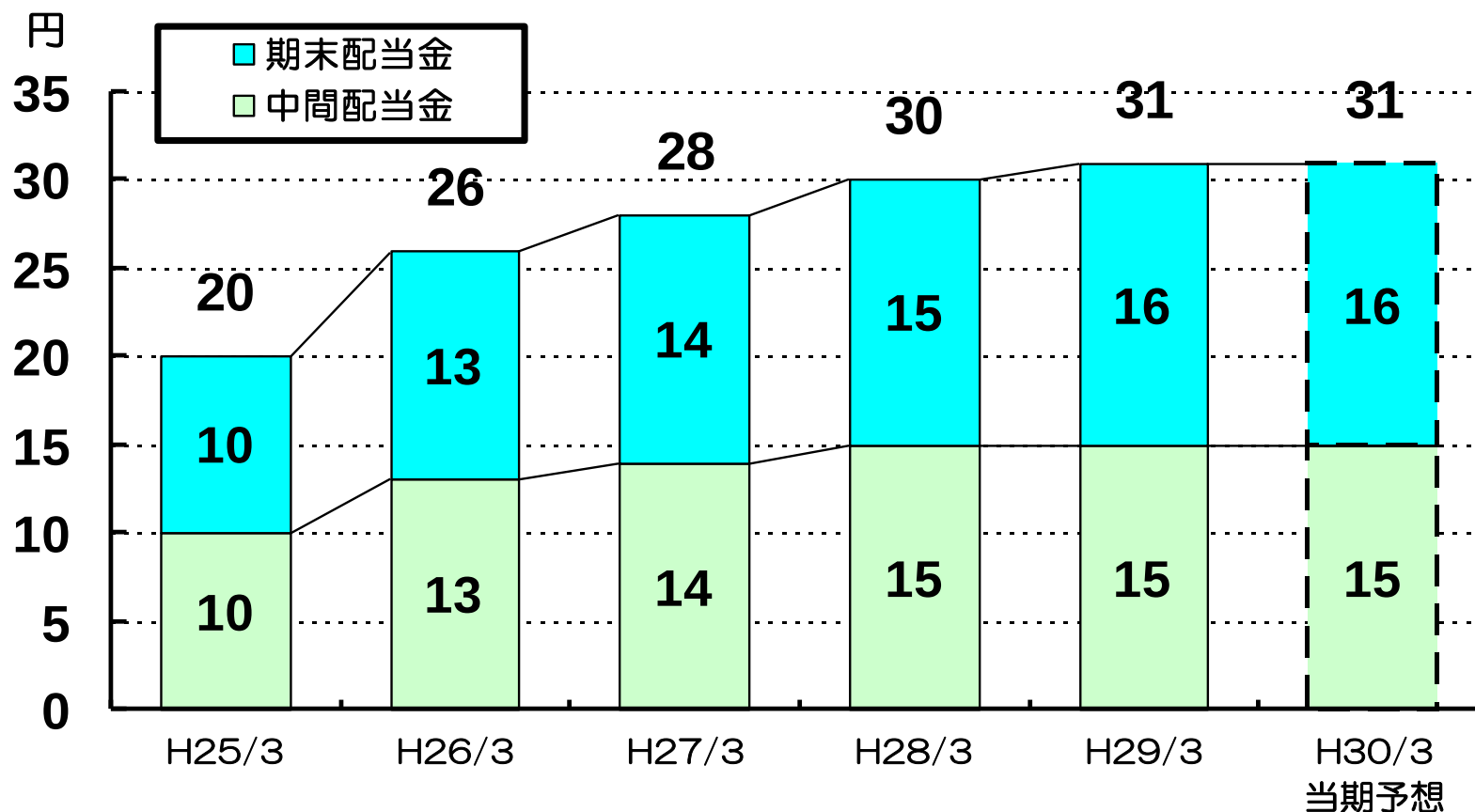
<効果>

- ・ 簡単な装着でいつでもどこでも
楽に歩けるよう歩行をアシスト
- ・ 歩行姿勢がよくなり体への負担が軽減
- ・ 足が高く上がり、疲れにくい

「aLQ」アルクで、いい人生を歩こう

POINT

前期同様 年31円を予定しております

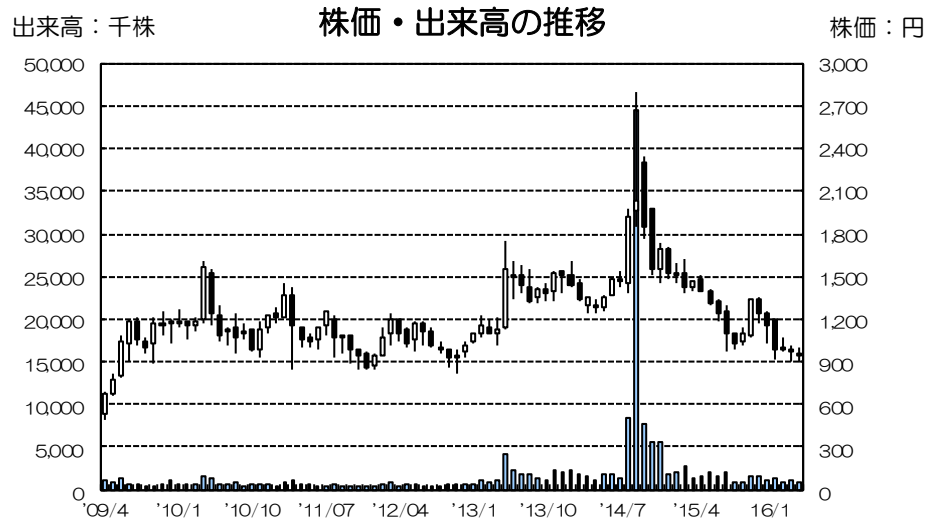


今後のスケジュール

6/21 (水) 株主総会 (名鉄犬山ホテル)
7/21 (金)・22 (土) 名証IRエキスポ (名古屋・吹上ホール)
8/7 (月) 平成30年3月期第1四半期決算発表予定

※そのほか、今仙グループの最新情報をWEBにて配信しております

<http://www.imasen.co.jp>



IRに関するお問い合わせ先

株式会社今仙電機製作所
グローバル経営事業部 経営企画課
IR担当

TEL 0568-67-1517

<http://www.imasen.co.jp/ir.html>